

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名:飯塚市社会福祉協議会筑穂支所児童デイサービス(ぴよぴよ)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・子どもたちの人数を考慮し、部屋・プレイルーム・東棟ホールを活用しています。	・園庭がないため、お散歩や砂あそび等を取り入れ季節を感じれるように支援しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	4	・トイレや洗面台の高さが身長にあっていない。踏み台を使用している。 ・洗面所やトイレなど高さが合っていない部分はあるが踏み台などを使っている。 ・トイレや洗面台の高さが子供の身長に合っていない。踏み台を作成し置いている。 ・朝の会時余計なものが目に入らないようカレンダーなど必要なもののみはっている。 ・一日の流れが子どもたちも分かるように、毎日ポスターで活動の写真を入れ替えています。	・生活空間が広いいため、登園してからの次の流れがわかりにくいいため、ロッカーや本棚・牛乳パックの柵等で仕切りを作り構造化が必要。その年の子どもたちの特性に合わせて、レイアウトを変更していきたいと思います。 ・ガラス戸が大きく外の刺激が大きいため、子どもたちの目線の高さくらいまでくもりフィルムを貼ってきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2	・毎日、感染予防のため喚起・消毒に努めています。 ・午睡用の布団は各自で持参している。(感染予防) ・子どもたちの人数、お天気に合わせて部屋・プレイルーム・東棟ホール・外遊び等を活動に取り入れています。	・机・テーブルを子どもたちの身長に合わせていきたいと思います。
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	・朝礼、終礼、記録、ホワイトボード記入などで共有・参画している。	・職員会議に職員全員が参加できるようにしていきたいと思います。

業務改善	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・保護者さまの意向に沿って検討し、毎年業務改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・毎月「ぴよぴよだより」を配布、年に一回ホームページにて公開をしています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		・第三委員による外部評価は設けていない。	・外部評価を受けるよう検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	5	1	・各自オンライン研修等を受けている。 ・各実地されている研修に参加し、後日ミーティングで報告している。 ・職員の年数に合わせて、受けるべき研修に参加しています。	・専門性向上のため、さらに研修の機会を確保していきたいと思 います。 ・職員の勤務年数に合わせて、毎年う ける研修が固定化されていくように計画をたてていきたく 思います。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		・保護者さま・保育所等の関係機関からもニーズを聞き、児童発達支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	・事業所で作成したアセスメントシートを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	3	・発達支援に偏りがち。 ・保育園と幼稚園に通っている児童が多く、家族が就労しているため直接会う機会がなかなかなく「家族支援」がむずかしい。 ・地域支援の支援内容が設定されてるのがわからない。	・「家族支援」が具体的に設定できるように、もっと家族からニーズが発信できるような手段を考えていきたいと思 います。 ・「地域支援」を保育所や幼稚園等とさらに並行して支援できるように設定していきたいと思 います。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		・支援が必要な場所に、個々の支援状況がわかるように貼っている。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・季節の行事等は職員会議にて立案している。 ・日々の活動は毎月交代で活動プログラムを立案している。		

支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・固定化しないように季節の行事を取り入れている。	・作品展に向けて、毎年喜んでもらえるような製作を考えていきたいと思います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6		・午前中は集団活動を中心に、午後から個別活動を取れ入れている。	・午後からは、お昼寝をする子どもたちもいるので個々に対応することが難しいですが、年齢に対応した個人支援を作成・実行していきたいと思います。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・パートの職員が参加するのが難しい。	・朝礼で話したこと・連絡帳の共有を、ホワイトボード等を使って確認できるようにします。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	5	1	・記録、ホワイトボードなどで共有している。 ・パート職員の参加が難しい。	・終礼での振り返りを全員が共有するように、こまめに確認していきたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	・支援の検証・改善につなげられていない。	・時間的に記録の徹底が難しいですが、検証・改善につなげることができるようにしていきたいと思います。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・毎月モニタリングを行い、見直しの判断としている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	6		・子どもの状況をもっとも把握している職員が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・保健師・相談員・保育所や幼稚園の先生等と連携し、支援しています。	・子どもによっては、同じ支援が進んでいない所もあるので、もっと連携が必要と思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	・現在はいいない。 ・今は対象児がいらないが相談があれば支援している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2	・現在はいいない。 ・今は対象児がいらないが相談があれば支援している。 ・重症心身障がいのある子供は今現在いないが体制は整えている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・移行後子どもたちが困ることがないように、担当者会議にて日頃の状況を伝えたり、書類・電話等で情報共有を図っています。	・完全移行に対して、保育所や幼稚園が不安を感じられることが多いため、安心して移行できるように少しずつ日数を増やして、年数をかけて相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・移行後子どもたちが困ることがないように、担当者会議にて日頃の状況を伝えたり、書類・電話等で情報共有を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・専門機関等の研修の機会があったら受けています。	・研修を受けたことを、日々の支援に活かして支援していきたいと思っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	・感染症等が蔓延している為、機会がない。	・近くの保育所や幼稚園、子育て支援センター等に交流の機会が持てるように、感染症等に配慮しながら進めていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	・参加できていない。 ・感染症等が蔓延しているので参加出来てない。	・感染症等に配慮しながら参加していきたいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・保護者さまに送迎時や連絡帳・電話等にて子どもたちの状況や課題について伝えています。	・直接会えない保護者さまが多く、日頃の課題等がお互いに共感できていないので、どうしたらもっと保護者さまからの声が聞けるのか、考えていきたいと思っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	・情報提供している。	・子どもの困っているところには具体的にアドバイスできるように、家族支援の力を高めていきたいと思っています。
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・利用開始前に説明を行っています。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		・「児童発達支援計画」を示しながら支援内容を説明し、保護者さまから同意を得ている。	・「児童発達支援計画」を作成する前に、保護者さまから支援してほしい子どもの課題を聞き、支援に取り入れて作成した計画で同意を得るようにしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・定期的ではないが保護者より相談がある時はその都度応じている。	・保護者さまからなかなか悩みの発信がない家庭もあるので、療育相談の先生が毎月来ていることをお知らせし、声をあげられる環境にしていきたいと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催すること等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	・開催していない。 ・相談があれば随時行っている。 ・コロナ以来父母の会合等行っていない、音楽の時には紹介するなど行っている。 ・保護者会は開催していないが音楽療法に来られた保護者に対して保護者同志の紹介はしている。	・音楽療法に参加されたご家族の方に、横のつながりができるように支援していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・相談・申し入れがあったら、迅速かつ適切に対応している。	・保護者さまからなかなか悩みの発信がない家庭もあるので、療育相談の先生や音楽療法の先生が毎月来ていることをお知らせし、声をあげられる環境にしていきたいと思います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・毎月1回ぴよぴよだよりを発行し、行事予定や活動内容をお知らせしている。	
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6		・利用開始前に、作品展示や写真についての個人情報等の承諾書をもって注意しています。	・連絡帳の注意点を声に出していうことは避け、ホワイトボード等を使っていきたいと思います。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・カードや写真を作成し、意思伝達ができるように配慮している。	・意思伝達の方法の一つとして、家庭でもカードや写真を使っての意思伝達ができるようお知らせしていきたいと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	・「福祉のつどい」などが開催されたら、作品展示に参加し家族にお知らせしています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	・マニュアル等を保護者に周知することはできていない。	・マニュアルを保護者さまに周知し、訓練を実地していきたいと思います。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6		・毎年、年に2～3回訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		・利用前に、病状を必ず確認しています。	・確認したうえで、子どもたちを支援し必要時には対応していきたいと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		・内容により相談をうけ対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・事例集を作成し共有していきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・勤務年数に合わせて、虐待研修を受けるように機会を確保しています。	・研修を受けたり、職員会議の中で議題にあげ対応していきたいと思います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		・やむを得ず身体拘束を行う場合を想定し、児童発達支援計画に記載しています。	・身体拘束についても、研修を受けたり職員会議の中で対応していきたいと思います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。